

【防災関連】

	意見の内容	市議会の考え方
1	企業消防団を設置すべきでは。	ご意見として承り、検討していきます。
2	女性消防団の募集を積極的にすべきでは。	他自治体では女性が増えてきているところもあると聞いています。市では男女関係なく募集しています。
3	消防団員募集に関し、企業・事業者・市職員・保育士等の方を積極的に募集すべきでは。	本市職員に対しては積極的に募集をしていますが、更に必要性を周知していきます。
4	消防団員勧誘マニュアルを有効活用しては。	消防庁から出ている「消防団員の確保に向けたマニュアル」を研究、活用し消防団員確保に努めていきます。
5	消防団の意義・目的を改めて認識すべきでは。	「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神で地域に密着した活動を行っており、市に貢献していただいています。改めて様々な手段で周知していきます。
6	自主防災意識をより明確にすべきでは。	全体会議やワークショップでより一層明確にしていきます。
7	自主防災では訓練とは言えず、意味がないのでは。	地域の人々のまとまった力は災害時に必要です。地域の人々の意思と協力で作られるものであり、意味があると考えています。
8	一斉大掃除と一体化して防災訓練をすべきでは。	各地域で実施しているところもあります。更に共助の観点から先進事例を学び、活かしていきます。
9	弥富市全体で各自治会の連携を大切に、密に取り組むべきでは。	全体会議で事例発表などしており、今後も連携していきます。
10	防災課が今まで以上に積極的に活動すべきでは。	今までも防災課は積極的に関わっていますが、これからも今まで以上に取り組んでいきます。
11	防災協議会を設置すべきでは。	弥富市防災会議というものを設置しています。
12	各家庭に避難ボートを設置する考えは。	本市が費用を負担することは現在考えていません。
13	市として何を優先するかを明確にするべきでは。	命を守ることが最優先であると、明確にしています。
14	避難知識の市民の認識を再認識するべきでは。	本市はホームページで随時新しい情報を発信しています。更に市民の再認識に繋げるよう努めていきます。
15	避難所である体育館に空調設備を設置すべきでは。	体育館の空調設備に関して、市は優先順位をつけています。議会として積極的に設置を推進していきます。

16	まちなか交流館の工事よりも、避難場所の空調整備を優先すべきでは。	まちなか交流館の工事は進んでいます。平時に使われる施設の延長に災害があり、避難場所があります。優先順位を見極め判断していきます。
17	避難場所に対する認識付けをより明確にするべきでは。	本市は随時ホームページを更新しています。今後も最新の情報を発信していきます。
18	避難場所の案内掲示を複数にするべきでは。	避難場所の案内は複数あり、様々な箇所に掲示しています。
19	一時避難場所に手すり等を設置する考えは。	本市の津波避難計画において、「階段や急な坂道には手すり等の設置が望ましい」と明記されています。一時避難場所には公共施設以外に民間施設も指定されていますが、現在、ほとんどの施設には手すりが設置されています。
20	高齢者への防災対策は。	市では、自助・共助の視点から「避難行動要支援者名簿」を運用し、高齢者・障がい者等の避難支援体制を確立しています。 また、自主防災組織では高齢者支援策(毛布・担架・ロープの準備、連携体制の整備)を地域で実施していますが、地域住民への周知は十分とは言えません。今後も自助啓発により、共助体制のさらなる整備を推進していきます。
21	市民に避難の際、3リットルの飲料水を携帯することを指示するという事に対して、疑問に思う。	避難時の備蓄水について、本市では避難所や在宅支援拠点に対し飲料水備蓄を求めています。市民個人に対して3リットル携帯を一律に指示はしていません。緊急を要する避難の際は、ご自身の命を最優先に考えてください。
22	市が災害に備えるため、個々に様々な備蓄品を揃えておくよう指示することに対して、疑問に思う。	本市では避難所向け備蓄の整備を進めていますが、市民に一律に備蓄負担を求めてはいません。自助の観点から飲料水も含め、個々に必要な物資を備えておくことを勧めています。
23	防災拠点を再認識すべきでは	全戸配布されている各種ハザードマップ等を確認頂き、また本市ホームページにて絶えず確認ください。また、自治会自主防災会会議にて確認・共有してください。
24	企画、アイデアを市民に聞くべきでは。	防災会議、防災ワークショップ等を通じて意見をお出してください。
25	X(旧ツイッター)、インスタグラム、フェイスブック等 SNS を活用し情報発信をすべきでは。	現在も SNS を通じて情報発信を行っていますが災害に関する情報が主体です。今後さらに市民に受け入れられやすい発信の仕方を提案していきます。

26	年代別に防災情報を周知すべきでは。	各年代層に周知できる体制を現在とっていますが、今後更なる周知方法の改善を提案していきます。
27	すべての面で情報共有を進めるべきでは。	情報共有できる方策を検討していきます。
28	なまず号をイベント等に活用しては。	これまでも活用していますが、県内に3台しかなく事前申し込みにより抽選にての利用になります。申し込みについては防災課を通じての申し込みとなります。

【施設管理関連】

	意見の内容	市議会の考え方
29	白鳥コミュニティセンターグラウンドに設置されている照明の利用時間は適切か。	照明の利用時間やタイマー設定に関して、現在のところ改善等の要望はありませんが、住民意見を反映して適切な照明時間の見直しを検討することは可能です。

【農政関連】

	意見の内容	市議会の考え方
30	市道の法面（のりめん）の草刈りを希望する。	市道法面の草刈りや水路泥上げなどの保全活動は、「多面的機能支払交付金事業」により実施されています。 ただし、市道の具体箇所に関しては、関係課と調整し、優先度を決めながら対応しています。

【総務関連】

	意見の内容	市議会の考え方
31	市長はじめ市議会議員・市職員が一体になって前進するよう取り組むべきでは。	様々な立場から、諸問題に取り組んでいきます。
32	市内施設の部屋を貸会議室として企業向けにも使用できるようにしてほしい。	公共施設使用料の変更を現在検討しており、そのような方向で動いています。
33	メールを送ったが何も返信がない場合や、AIが返信していると思うようなこともあったがどのような対応か。	メールというのは弥富市のホームページから入る「問い合わせフォーム」のことだと仮定してお答えしますが、返信がない場合は、「回答しない例」に当てはまっていると考えられます。ご確認ください。返信する場合はAIではなく、人間が回答します。
34	市内の動物病院との災害協定の協議の推進は。	獣医師団体と検討を進めていきます。

35	ペット避難のセミナー及び飼い主とペットでシミュレーションを行っては。	避難時のシミュレーションは重要かつ必要な事であると考えており、取組んでいきます。
36	議会だよりの文字が小さい。	文字が大きく読みやすいことと情報量のバランスを考え、市議会で検討していきます。